

厚生労働行政推進調査事業費（障害者政策総合研究事業）
分担研究報告書

次期全国在宅障害児・者等実態調査の検討のためのプレ調査

研究分担者 岩谷 力 長野保健医療大学
研究分担者 今橋久美子 国立障害者リハビリテーションセンター
研究分担者 北村 弥生 国立障害者リハビリテーションセンター
研究代表者 飛松 好子 国立障害者リハビリテーションセンター
研究協力者 外里 富佐江 長野保健医療大学
研究協力者 北澤 一樹 長野保健医療大学

研究要旨

厚生労働省が次期に行う全国在宅障害児・者等実態調査に向けて、モデル地域（長野県飯山市）において、プレ調査を試行し、調査方法、調査票の設計、項目設定等について課題を明らかにすることを目的とした。障害者手帳所持者 1,221 名（身体 867 名、療育 154 名、精神 200 名）に無記名調査票を郵送し、589 名（48.2%）から回答を得て、全設問の有効回答率・誤答および障害種別回答率を算出した。有効回答率が相対的に低い設問や誤答の多い設問については表現や選択肢の改善案を示した。一方で、現在利用しているサービス種類や収入・税の状況等については、現行の方法では全体の捕捉が困難であることが示唆された。

A. 研究目的

厚生労働省が次期に行う全国在宅障害児・者等実態調査に向けて、協力が得られたモデル地域（長野県飯山市）において、プレ調査（郵送配付回収）を試行し、調査方法、調査票の設計、項目設定等について課題を明らかにすることを目的とする。

B. 研究方法

対象：長野県飯山市に住民票のある障害者手帳所持者 1,221 名（身体 867 名、療育 154 名、精神 200 名）。

方法：過去の全国在宅障害児・者等実態調査および「障害福祉計画策定に係る実態調査及び PDCA サイクルに関するマニュアル」を基に、余暇、健康増進、災害時避難、人権等に関する新規設問を追加して無記名調査票（資料 1）を作成した。調

査票を上記対象者に郵送・回収した。飯山市においてデータを電子化し、研究者は電子化されたデータを取得して下記を算出した。

- 1) 全設問の有効回答率・誤答（択一の設問に複数回答、設問の対象でない場合に回答するなど）の有無
- 2) 障害種別回答率

以上より、設問の形式や表記上の課題を明らかにし、次期「全国在宅障害児・者等実態調査」を実施する際の基礎資料とする。

C. 研究結果

- 1) 全設問の有効回答率・誤答の有無
障害者手帳の種類（複数選択）

回答者の手帳の重複所持状況	度数	割合
身体のみ	407	69%

療育のみ	75	13%
精神のみ	80	14%
身体+療育	14	2%
身体+精神	2	0%
療育+精神	3	1%
有効回答数	581	99%
欠損値	8	1%
合計	589	100%

調査票への記入方法（択一）

記入方法	度数	割合
本人がご自身で記入	339	58%
本人の意思を「代筆」	95	16%
本人の意向を代理記入	89	15%
小計	523	89%
複数回答	4	1%
欠損値	62	11%
合計	589	100%

（本人以外が回答を記入した 188 人）

問 1 本人以外が回答を記入した場合の記入者と本人との関係（択一）

記入者	度数	割合
親	75	40%
親以外の家族	74	39%
その他	33	18%
小計	182	97%
欠損値	6	3%
合計	188	100%

（本人状況）

問 2 年齢

年齢（歳）	度数	割合
0～4	0	0%
5～9	3	1%
10～14	9	2%

15～17	11	2%
18～19	5	1%
20～24	12	2%
25～29	11	2%
30～34	12	2%
35～39	18	3%
40～44	16	3%
45～49	13	2%
50～54	25	4%
55～59	31	5%
60～64	44	7%
65～69	59	10%
70～74	59	10%
75～79	55	9%
80～84	69	12%
85～89	73	12%
90～94	36	6%
95～99	6	1%
100～104	1	0%
小計	568	96%
欠損値	21	4%
合計	589	100%

問 3 性別（択一）

性別	度数	割合
男性	289	49%
女性	288	49%
その他	1	0%
答えたくない	2	0%
小計	580	98%
欠損値	9	2%
合計	589	100%

問 4 住宅の種類（択一）

住宅の種類	度数	割合
持ち家	489	83%

賃貸住宅	23	4%
社宅	1	0%
公営住宅	34	6%
グループホーム等	15	3%
施設	6	1%
その他	11	2%
小計	579	98%
複数回答	1	0%
欠損値	9	2%
合計	589	100%

問5 同居者（複数選択）

同居者	度数	割合
配偶者	247	42%
親	153	26%
子	213	36%
同胞	74	13%
その他	61	10%
独居	63	11%
有効回答数	580	98%
欠損値	9	2%
合計	589	100%

問6 日常生活（択一）

1. 食事をする	度数	割合
一人でできる	500	85%
手伝いがあればできる	51	9%
できない	21	4%
経験・機会がない	1	0%
小計	573	97%
複数回答	5	1%
欠損値	11	2%
合計	589	100%

2. 食事の支度や後片付けをする	度数	割合
一人でできる	349	59%

手伝いがあればできる	90	15%
できない	114	19%
経験・機会がない	15	3%
小計	568	96%
複数回答	2	0%
欠損値	19	3%
合計	589	100%

3. 衣服を着たり脱いだりする	度数	割合
一人でできる	481	82%
手伝いがあればできる	62	11%
できない	31	5%
小計	574	97%
複数回答	2	0%
欠損値	13	2%
合計	589	100%

4. 排せつをする	度数	割合
一人でできる	506	86%
手伝いがあればできる	35	6%
できない	34	6%
小計	575	98%
複数回答	1	0%
欠損値	13	2%
合計	589	100%

5. 入浴をする	度数	割合
一人でできる	443	75%
手伝いがあればできる	64	11%
できない	64	11%
小計	571	97%
複数回答	5	1%
欠損値	13	2%
合計	589	100%

6. 身だしなみを整える	度数	割合
--------------	----	----

一人でできる	441	75%
手伝いがあればできる	88	15%
できない	41	7%
小計	570	97%
複数回答	2	0%
欠損値	17	3%
合計	589	100%

7. 家の中を移動する	度数	割合
一人でできる	494	84%
手伝いがあればできる	47	8%
できない	31	5%
小計	572	97%
複数回答	1	0%
欠損値	16	3%
合計	589	100%

8. 身の回りの掃除、整理整頓をする	度数	割合
一人でできる	358	61%
手伝いがあればできる	104	18%
できない	109	19%
経験・機会がない	1	0%
小計	572	97%
複数回答	3	1%
欠損値	14	2%
合計	589	100%

9. 洗濯をする	度数	割合
一人でできる	357	61%
手伝いがあればできる	62	11%
できない	118	20%
経験・機会がない	26	4%
小計	563	96%
複数回答	4	1%
欠損値	22	4%

合計	589	100%
----	-----	------

10. 買い物をする	度数	割合
一人でできる	344	58%
手伝いがあればできる	83	14%
できない	126	21%
経験・機会がない	16	3%
小計	569	97%
複数回答	4	1%
欠損値	16	3%
合計	589	100%

11. お金の管理をする	度数	割合
一人でできる	366	62%
手伝いがあればできる	62	11%
できない	129	22%
経験・機会がない	15	3%
小計	572	97%
複数回答	2	0%
欠損値	15	3%
合計	589	100%

12. 薬の管理をする	度数	割合
一人でできる	415	70%
手伝いがあればできる	57	10%
できない	92	16%
経験・機会がない	9	2%
小計	573	97%
複数回答	1	0%
欠損値	15	3%
合計	589	100%

13. 自分の意思を伝える	度数	割合
一人でできる	469	80%
手伝いがあればできる	77	13%
できない	24	4%

経験・機会がない	3	1%
小計	573	97%
複数回答	2	0%
欠損値	14	2%
合計	589	100%

14. 相手の意思を理解する	度数	割合
一人でできる	444	75%
手伝いがあればできる	80	14%
できない	42	7%
経験・機会がない	1	0%
小計	567	96%
複数回答	5	1%
欠損値	17	3%
合計	589	100%

問7 日常生活での苦勞 (択一)

1. 眼鏡を使用して、見ること	度数	割合
苦勞はない	336	57%
多少苦勞する	140	24%
とても苦勞する	42	7%
全くできない	13	2%
小計	531	90%
欠損値	58	10%
合計	589	100%

2. 補聴器を使用して、聴き取り	度数	割合
苦勞はない	365	62%
多少苦勞する	64	11%
とても苦勞する	37	6%
全くできない	12	2%
小計	478	81%
欠損値	111	19%
合計	589	100%

3. 歩行や階段の上り下り	度数	割合
---------------	----	----

苦勞はない	209	35%
多少苦勞する	176	30%
とても苦勞する	128	22%
全くできない	42	7%
小計	555	94%
複数回答	1	0%
欠損値	33	6%
合計	589	100%

4. 通常の言語を使ったコミュニケーション	度数	割合
苦勞はない	341	58%
多少苦勞する	144	24%
とても苦勞する	53	9%
全くできない	16	3%
小計	554	94%
複数回答	1	0%
欠損値	34	6%
合計	589	100%

5. 思い出したり集中したりすること	度数	割合
苦勞はない	272	46%
多少苦勞する	198	34%
とても苦勞する	63	11%
全くできない	18	3%
小計	551	94%
欠損値	38	6%
合計	589	100%

6. 身の回りのこと	度数	割合
苦勞はない	330	56%
多少苦勞する	138	23%
とても苦勞する	57	10%
全くできない	31	5%
小計	556	94%

複数回答	1	0%
欠損値	32	5%
合計	589	100%

問 8 不安や気分の落ち込みなどの頻度 (択一)

1. 心配、緊張、不安など	度数	割合
1) 毎日	134	23%
2) 週に1回程度	111	19%
3) 月に1回程度	77	13%
4) 年に2、3回程度	104	18%
5) 全くない	117	20%
小計	543	92%
複数回答	2	0%
欠損値	44	7%
合計	589	100%

2. 気分が落ち込むこと	度数	割合
1) 毎日	90	15%
2) 週に1回程度	112	19%
3) 月に1回程度	82	14%
4) 年に2、3回程度	107	18%
5) 全くない	148	25%
小計	539	92%
複数回答	2	0%
欠損値	48	8%
合計	589	100%

問 9 程度 (択一)

(問 8-1 で 1) から 4) を選んだ 426 人)

1. 心配、緊張、不安などの程度	度数	割合
ひどく	30	7%
かなり	82	19%
すこし	252	59%
わからない	39	9%
小計	403	95%
欠損値	23	5%
合計	426	100%

(問 8-2 で 1) から 4) を選んだ 391 人)

2. 気分の落ち込む程度	度数	割合
ひどく	29	7%
かなり	66	17%
すこし	232	59%
わからない	44	11%
小計	371	95%
欠損値	20	5%
合計	391	100%

問 10 障害者手帳取得の原因 (複数選択)

障害者手帳取得の原因	度数	割合
病気	377	64%
事故けが	56	10%
先天性	81	14%
その他	51	9%
わからない	19	3%
有効回答数	558	95%
欠損値	31	5%
合計	589	100%

問 11 持病 (複数選択)

持病	度数	割合
高血圧	235	40%
糖尿病	86	15%
高脂血症	40	7%
腰痛	138	23%
歯病気	53	9%
目の病気	113	19%
その他	158	27%
なし	87	15%
有効回答数	550	93%
欠損値	39	7%
合計	589	100%

問 12 現在受けている医療ケア（複数選択）

現在受けている医療ケア	度数	割合
点滴管理	8	1%
中心静脈栄養	3	1%
透析	25	4%
ストーマ処置	14	2%
酸素療法	16	3%
人工呼吸器	4	1%
気管切開処置	5	1%
疼痛看護	5	1%
経管栄養	7	1%
モニター測定	2	0%
褥瘡処置	2	0%
導尿	8	1%
服薬管理	138	23%
吸引	12	2%
吸入	5	1%
体位変換	9	2%
摘便・浣腸	24	4%
てんかん発作処置	8	1%
その他	62	11%
受けてない	220	37%
有効回答数	486	83%
欠損値	103	17%
合計	589	100%

問 13 コミュニケーション手段（複数選択）

コミュニケーション手段	度数	割合
スマートフォン・タブレット端末	126	21%
パソコン・意思疎通支援機器	41	7%
携帯電話	226	38%
固定電話	186	32%
ファックス	38	6%
補聴器	41	7%
人工内耳	40	7%

コミュニケーションボード	10	2%
読話	6	1%
点字	1	0%
筆談・要約筆記	11	2%
手話・手話通訳	1	0%
触手話	0	0%
指点字	0	0%
家族・友人・介助者	128	22%
その他	19	3%
利用できない	10	2%
不要	90	15%
有効回答数	549	93%
欠損値	40	7%
合計	589	100%

問 14 情報入手方法（複数選択）

情報入手方法	度数	割合
テレビ	496	84%
ラジオ	147	25%
一般図書・新聞・雑誌	298	51%
パソコン	70	12%
スマホ・タブレット	132	22%
携帯電話	138	23%
ファックス	19	3%
手話・文字放送	4	1%
録音図書	1	0%
点字	1	0%
家族・友人・介助者	195	33%
その他	8	1%
できない	4	1%
不要	19	3%
有効回答数	574	97%
欠損値	15	3%
合計	589	100%

問 15 日中の過ごし方（複数選択）

日中の過ごし方	度数	割合
正職員勤務	44	7%
正職員以外勤務	63	11%
自営業	70	12%
障害者通所サービス利用	63	11%
介護保険通所サービス利用	82	14%
病院等のデイケア利用	36	6%
リハビリ利用	50	8%
学校通学	25	4%
放課後児童クラブ利用	1	0%
保育園・幼稚園・認定こども園利用	26	4%
障害児通所施設利用	15	3%
社会活動参加	10	2%
家庭で家事、育児、介護等	63	11%
家庭内で過ごしている	277	47%
その他	53	9%
児童発達	2	0%
医療型児童発達	1	0%
放課後等デイサービス	13	2%
保育所等訪問支援	0	0%
有効回答数	563	96%
欠損値	26	4%
合計	589	100%

問 16 障害者向け求人へ応募の有無 (択一)

障害者向け求人へ応募の有無	度数	割合
はい	57	10%
いいえ	482	82%
小計	539	92%
複数回答	1	0%
欠損値	49	8%
合計	589	100%

問 17 今後収入を得る仕事をしたいか (択一)

今後収入を得る仕事をしたいか	度数	割合
はい	185	31%
いいえ	80	14%
必要がない	179	30%
その他	90	15%
小計	534	91%
複数回答	4	1%
欠損値	51	9%
合計	589	100%

仕事をしたい	度数	割合
仕事をしたい	185	31%
仕事はしたくない	80	14%
必要がない	179	30%
その他	90	15%
小計	534	91%
複数回答	4	1%
欠損値	51	9%
合計	589	100%

(問 17 で「仕事をしたい」と答えた 185 人)

問 18 就職に必要なこと (複数選択)

就職に必要なこと	度数	割合
通勤手段確保	72	39%
職場のバアフリー	15	8%
柔軟な勤務体制	74	40%
在宅勤務	33	18%
職場の理解	112	61%
通院機会の確保	91	49%
支援機関の支援	50	27%
その他	9	5%
有効回答数	174	94%
欠損値	11	6%
合計	185	100%

問 19 余暇時間 (週末などの 2 日以内の休日) の過ごし方 (複数選択)

余暇時間の過ごし方	度数	割合
のんびり	149	25%
TV、ラジオ	383	65%
新聞・雑誌	206	35%
友人と交際	117	20%
軽い運動スポーツ	99	17%
趣味・娯楽	102	17%
PC、IN、TV ゲーム	97	16%
鑑賞・見物	26	4%
学習活動	6	1%

地域、社会活動	18	3%
飲食、ショッピング	130	22%
ドライブ	77	13%
日帰り行楽	61	10%
遊園地・テーマパーク	3	1%
家族団らん	83	14%
その他	49	8%
有効回答数	514	87%
欠損値	75	13%
合計	589	100%

問 20 運動やスポーツをしているか（複数選択）

運動やスポーツをしているか	度数	割合
散歩	178	30%
体操	61	10%
スポーツ	61	10%
しない	282	48%
有効回答数	534	91%
欠損値	55	9%
合計	589	100%

（問 20 で散歩・体操・スポーツいずれかしていると答えた 252 人）

問 21 場所（複数選択）

場所	度数	割合
屋外	106	42%
家庭内	56	22%
障害者センター	22	9%
公共施設（センター以外）	13	5%
民間施設	15	6%
その他	29	12%
有効回答数	195	77%
欠損値	57	23%
合計	252	100%

問 22 頻度（択一）

頻度	度数	割合
週 3 日以上	87	35%
週 1～2 日	68	27%
月 1～3 日	22	9%
3 ヶ月に 1～2 日	3	1%
年に 1～3 日	3	1%
わからない	16	6%
小計	199	79%
複数回答	1	0%
欠損値	52	21%
合計	252	100%

（外出）

問 23 頻度（択一）

頻度	度数	割合
毎日	130	22%
1 週間に 3-6 日	157	27%
1 週間に 1-2 日	155	26%
2 週間に 1-2 日	25	4%
1 ヶ月に 1-2 日	44	7%
2-3 か月に一回	12	2%
5-6 か月に一回	4	1%
外出していない	31	5%
小計	558	95%
複数回答	3	1%
欠損値	28	5%
合計	589	100%

問 24 外出の目的（3 つ選択）

外出の目的	度数	割合
通勤・通学・通所	166	28%
医療機関受診	302	51%
友人・知人と会う	81	14%
グループ活動参加	21	4%
訓練・リハ	45	8%
買い物	341	58%

趣味・スポーツ	49	8%
散歩	134	23%
その他	71	12%
有効回答数	552	94%
欠損値	37	6%
合計	589	100%

問 25 一人で外出できるか (択一)

一人で外出できるか	度数	割合
どこにでも一人で外出できる	246	42%
慣れた場所以外は支援が必要	124	21%
体調が悪い場合は支援が必要	25	4%
どこにでも支援が必要	127	22%
その他	19	3%
小計	541	92%
複数回答	14	2%
欠損値	34	6%
合計	589	100%

問 26 一人で外出できない場合の方法 (複数選択)

一人は外出できない場合の方法	度数	割合
福祉サービス利用	77	13%
移送サービス利用	27	5%
家族の付き添い	265	45%
友人知人、ボランティア	28	5%
その他	32	5%
有効回答数	345	59%
欠損値	244	41%
合計	589	100%

問 27 移送サービス利用の希望 (択一)

移送サービス利用の希望	度数	割合
毎日	8	1%
1週間に3-6日	19	3%
1週間に1-2日	28	5%
2週間に1-2日	11	2%

1ヶ月に1-2日	40	7%
その他	23	4%
利用を希望していない	176	30%
わからない	83	14%
小計	388	66%
複数回答	3	1%
欠損値	198	34%
合計	589	100%

問 28 困ること、心配なこと (3つ選択)

困ること、心配なこと	度数	割合
公共交通機関少ない	123	21%
列車バス乗降困難	93	16%
道路・駅の段差	126	21%
切符、乗り換え	52	9%
設備不備	64	11%
介助者いない	43	7%
お金がかかる	93	16%
周囲の目	49	8%
体調変化	61	10%
困難な時の対応	120	20%
その他	46	8%
有効回答数	390	66%
欠損値	199	34%
合計	589	100%

(災害)

問 29 一人で避難できるか (択一)

一人で避難できるか	度数	割合
できる	245	42%
できない	236	40%
わからない	90	15%
小計	571	97%
複数回答	2	0%
欠損値	16	3%
合計	589	100%

問 30 災害時の救助人（択一）

災害時の救助人	度数	割合
いる	222	38%
いない	132	22%
わからない	191	32%
小計	545	93%
複数回答	2	0%
欠損値	42	7%
合計	589	100%

問 31 災害にあったことがあるか（択一）

災害にあったことがあるか	度数	割合
ある	205	35%
ない	353	60%
小計	558	95%
欠損値	31	5%
合計	589	100%

問 32 災害時に困った（困ると思われる）こと（複数選択）

災害時に困ったこと	度数	割合
避難場所の設備や生活環境が不安	226	38%
安全なところまで、迅速に避難することができない	215	37%
家の片付けなどができない	181	31%
投薬や治療が受けられない	161	27%
通常と異なる状況で、買い物など物資の入手ができない	139	24%
補装具・日常生活用具・医薬品の入手ができなくなる	94	16%
周囲とコミュニケーションがとれない	91	15%
被害状況、避難場所などの情報が入手できない	85	14%
救助を求めることができない	80	14%

復旧に関する情報が入手できない	54	9%
地域の災害リスクの情報が入手できない	46	8%
補装具の使用が困難になる	39	7%
その他	16	3%
わからない	73	12%
有効回答数	496	84%
欠損値	93	16%
合計	589	100%

問 33 差別や嫌な思い（択一）

差別経験	度数	割合
ある	79	13%
少しある	126	21%
ない	366	62%
小計	571	97%
欠損値	18	3%
合計	589	100%

（問 33 で「ある」「少しある」と答えた 205 人）

問 34 差別を受けた時・場合（複数選択）

差別を受けた時・場合	度数	割合
学校・仕事場	74	36%
求職時	44	21%
外出中	65	32%
余暇	22	11%
医療機関	40	20%
居住地域	73	36%
その他	11	5%
有効回答数	200	98%
欠損値	5	2%
合計	205	100%

（身体障害者手帳所持者 423 人）

問 35 身体障害者手帳の等級、初めて認定された

年齢（択一）

身体障害者手帳の等級	度数	割合
1級	127	30%
2級	54	13%
3級	69	16%
4級	77	18%
5級	25	6%
6級	23	5%
小計	375	89%
無効回答	1	0%
欠損値	47	11%
合計	423	100%

年齢階級	度数	割合
0-9	14	3%
10-19	11	3%
20-29	6	1%
30-39	16	4%
40-49	30	7%
50-59	70	17%
60-69	70	17%
70-79	64	15%
80-	46	11%
小計	327	77%
欠損値	96	23%
合計	423	100%

問 36 身体障害の種類ごとに、該当する等級、初めて認定された年齢（各択一）

等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	合計	割合
視覚	5	8	2	6	4	3	-	28	7%
聴覚	-	5	2	4	-	13	-	24	6%
音声・言語・そしゃく	-	-	5	4	-	-	-	9	2%
肢体（上肢）	9	23	12	14	3	3	3	67	16%

肢体（下肢）	6	23	44	46	19	11	2	151	36%
肢体（体幹）	9	6	9	-	4	-	-	28	7%
肢体（脳原性運動機能）	3	3	3	1	1	-	-	11	3%
心臓	64	-	11	7	-	-	-	82	19%
呼吸器	5	-	9	2	-	-	-	16	4%
じん臓	22	-	-	-	-	-	-	22	5%
ぼうこう・直腸	-	-	1	13	-	-	-	14	3%
その他	3	-	3	4	1	-	-	11	3%
有効回答数								377	89%
欠損値								46	11%
合計								423	100%

年齢（歳）	0-17	18-64	65-	欠損値	合計
視覚	2	9	13	4	28
割合	7%	32%	46%	14%	100%
聴覚	5	8	8	0	21
割合	24%	38%	38%	0%	100%
音声・言語・そしゃく	0	5	1	0	6
割合	0%	83%	17%	0%	100%
肢体（上肢）	7	29	19	0	55
割合	13%	53%	35%	0%	100%
肢体（下肢）	11	66	53	0	130
割合	8%	51%	41%	0%	100%
肢体（体幹）	6	11	6	0	23
割合	26%	48%	26%	0%	100%
肢体（脳原性運動機能）	1	5	2	0	8
割合	13%	63%	25%	0%	100%
心臓	0	28	40	0	68
割合	0%	41%	59%	0%	100%
呼吸器	1	3	8	0	12
割合	8%	25%	67%	0%	100%
じん臓	0	12	5	0	17

割合	0%	71%	29%	0%	100%
ぼうこう・直腸	0	5	4	0	9
割合	0%	56%	44%	0%	100%
その他	0	5	5	0	10
割合	0%	50%	50%	0%	100%

問 37 身体障害者手帳取得の原因疾患(複数選択)

手帳取得の原因疾患	度数	割合
心臓疾患	79	19%
骨関節疾患	49	12%
脳血管障害	42	10%
眼科疾患	22	5%
耳鼻科疾患	22	5%
じん臓疾患	21	5%
呼吸器疾患	12	3%
切断	12	3%
リウマチ性疾患	10	2%
ぼうこう疾患	8	2%
脳性まひ	8	2%
脊髄損傷	8	2%
その他	107	25%
有効回答数	381	90%
欠損値	42	10%
合計	423	100%

(療育手帳所持者 92 人)

問 38 療育手帳記載の障害程度、初めて認定された年齢(択一)

手帳記載の障害程度	度数	割合
A1	21	23%
A2	8	9%
B1	19	21%
B2	32	35%
小計	80	87%
欠損値	12	13%
合計	92	100%

年齢階級	度数	割合
0-9	23	25%
10-19	27	29%
20-29	7	8%
30-39	1	1%
40-49	3	3%
50-59	3	3%
60-69	2	2%
70-79	3	3%
80-	0	0%
小計	69	75%
欠損値	23	25%
合計	92	100%

(精神障害者保健福祉手帳所持者 85 人)

問 39 精神障害者保健福祉手帳記載の等級、初めて認定された年齢(択一)

手帳記載の等級	度数	割合
1 級	41	48%
2 級	35	41%
3 級	4	5%
小計	80	94%
欠損値	5	6%
合計	85	100%

年齢階級	度数	割合
0-9	1	1%
10-19	5	6%
20-29	15	18%
30-39	15	18%
40-49	16	19%
50-59	5	6%
60-69	4	5%
70-79	3	4%
80-	2	2%
小計	66	78%
欠損値	19	22%

合計	85	100%
----	----	------

問 40 精神障害者保健福祉手帳取得の原因疾患・障害（複数選択）

手帳取得の原因疾患・障害	度数	割合
気分障害	24	28%
神経症性障害	15	18%
統合失調症	42	49%
摂食障害	1	1%
睡眠障害	11	13%
アルコール・薬物依存	3	4%
認知症	2	2%
その他の精神疾患	5	6%
パーキンソン病	2	2%
てんかん	5	6%
発達障害	12	14%
高次脳機能障害	2	2%
その他の神経疾患	2	2%
その他	6	7%
有効回答数	78	92%
欠損値	7	8%
合計	85	100%

（福祉サービスの利用）

問 41 障害支援区分認定の有無（択一）

障害支援区分認定の有無	度数	割合
区分 1	7	1%
区分 2	24	4%
区分 3	13	2%
区分 4	9	2%
区分 6	6	1%
記載されていない	38	6%
受けていない	205	35%
小計	302	51%
複数回答	1	0%
欠損値	286	49%

合計	589	100%
----	-----	------

問 42 障害者総合支援法の福祉サービスまたは児童福祉法の障害児支援利用の有無（択一）

福祉サービス利用の有無	度数	割合
利用している	102	17%
利用していない	259	44%
小計	361	61%
欠損値	228	39%
合計	589	100%

（問 42 で「利用している」と答えた 102 人）

問 43 利用サービスの種類（複数選択）

利用サービスの種類	度数	割合
居宅介護	24	24%
重度訪問介護	2	2%
同行援護	5	5%
行動援護	9	9%
重度障害者等包括支援	2	2%
短期入所	29	28%
療養介護	1	1%
生活介護	11	11%
障害者支援施設での夜間ケア等	2	2%
自立生活援助	3	3%
共同生活援助	10	10%
自立訓練	3	3%
就労移行支援	6	6%
就労継続支援 A 型	3	3%
就労継続支援 B 型	13	13%
就労定着支援	2	2%
移動支援	17	17%
地域活動支援センター	10	10%
福祉ホーム	2	2%
日中一時支援	18	18%
計画相談支援	17	17%
地域移行支援	0	0%

地域定着支援	2	2%
障害児相談支援	0	0%
児童発達支援	1	1%
医療型児童発達支援	0	0%
放課後等デイサービス	11	11%
居宅訪問型児童発達支援	0	0%
保育所等訪問支援	0	0%
福祉型障害児入所支援	0	0%
医療型障害児入所施設	1	1%
上記に含まれないサービス	3	3%
有効回答数	102	100%
欠損値	0	0%
合計	102	100%

問 44 介護保険要介護認定の有無（択一）

要介護認定の有無	度数	割合
要支援 1	11	2%
要支援 2	17	3%
要介護 1	27	5%
要介護 2	30	5%
要介護 3	17	3%
要介護 4	17	3%
要介護 5	12	2%
非該当	70	12%
申請していない	219	37%
小計	420	71%
複数回答	1	0%
欠損値	168	29%
合計	589	100%

問 45 介護保険サービス利用の有無（択一）

介護保険サービス利用の有無	度数	割合
利用している	126	21%
利用していない	292	50%
小計	418	71%
欠損値	171	29%

合計	589	100%
----	-----	------

（問 45 で「利用している」と答えた 126 人）

問 46 利用サービスの種類（複数選択）

利用サービスの種類	度数	割合
訪問介護	25	20%
訪問入浴介護	11	9%
訪問看護	34	27%
訪問リハ	26	21%
夜間対応型訪問介護	0	0%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	2%
居宅療養管理指導	2	2%
通所介護	69	55%
通所リハ	24	19%
地域密着型通所介護	1	1%
認知症対応型通所介護	3	2%
短期入所生活介護	33	26%
短期入所療養介護	0	0%
介護老人福祉施設	2	2%
介護老人保健施設	4	3%
介護療養型医療施設	0	0%
特定施設入居者生活介護	2	2%
介護医療院	2	2%
認知症対応型グループホーム	3	2%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	1%
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0%
小規模多機能型居宅介護	1	1%
看護小規模多機能型居宅介護	2	2%
福祉用具貸与	49	39%
特定福祉用具販売	5	4%
有効回答数	125	99%
欠損値	1	1%
合計	126	100%

(問 2 で 18 歳以上と答えた 545 人)

問 47 本人の平均的な月収と内訳 (択一)

平均的な月収	度数	割合
0 円以上～1 万円未満	52	10%
1 万円以上～3 万円未満	7	1%
3 万円以上～6 万円未満	14	3%
6 万円以上～9 万円未満	19	3%
9 万円以上～12 万円未満	12	2%
12 万円以上～15 万円未満	18	3%
15 万円以上～18 万円未満	13	2%
18 万円以上～21 万円未満	14	3%
21 万円以上～24 万円未満	3	1%
24 万円以上～27 万円未満	6	1%
27 万円以上～30 万円未満	2	0%
30 万円以上～50 万円未満	8	1%
50 万円以上～	0	0%
小計	168	31%
欠損値	377	69%
合計	545	100%

問 48 本人の課税状況等 (択一)

18 歳以上	本人	割合
住民税	課税	126 23%
	非課税	252 46%
	小計	378 69%
	欠損値	167 31%
	合計	545 100%
所得税	課税	109 20%
	非課税	258 47%
	小計	367 67%
	欠損値	178 33%
	合計	545 100%
生活保護	受給	12 2%
	非受給	342 63%
	小計	354 65%

欠損値	191	35%
合計	545	100%

(問 2 で 18 歳未満と答えた 23 人)

問 49 本人を含む生計を同一とする家族の課税状況等 (択一)

18 歳未満	世帯	割合
住民税	課税	14 61%
	非課税	4 17%
	小計	18 78%
	欠損値	5 22%
	合計	23 100%
所得税	課税	13 57%
	非課税	4 17%
	小計	17 74%
	欠損値	6 26%
	合計	23 100%
生活保護	受給	1 4%
	非受給	19 83%
	小計	20 87%
	欠損値	3 13%
	合計	23 100%

問 50 困ったことの相談者 (複数選択)

困ったことの相談相手	度数	割合
家族や親せき	467	79%
友人・知人	138	23%
福祉サービス事業所や施設の人	120	20%
障害者団体や家族会	16	3%
かかりつけの医師や看護師	233	40%
病院 MSW・ケアマネ	82	14%
民生委員・児童委員	35	6%
通園施設、保育所、幼稚園、学校の先生	13	2%
民間の相談窓口	13	2%
行政機関の相談窓口	63	11%

その他	9	2%
相談したいが、相談できない	12	2%
有効回答数	538	91%
欠損値	51	9%
合計	589	100%

問 51 現在、特に必要と感じている支援（6 つまで選択）

現在特に必要と感じている支援	度数	割合
在宅医療ケア	53	9%
障害に適した住宅の確保	48	8%
在宅福祉サービスの充実	93	16%
通所施設の整備	45	8%
早期訓練・療育事業の充実	12	2%
家族に対する支援事業	61	10%
生活訓練などの充実	34	6%
相談対応などの充実	73	12%
交流機会の拡大や理解を深める教育・機会充実	39	7%
親亡き後の生活支援	96	16%
入所施設の整備	42	7%
権利や人権擁護支援	82	14%
障害の進行・二次障害・重複障害支援	35	6%
災害時、緊急時の情報、通信、避難誘導対策充実	115	20%
修学を容易にするための制度の充実	14	2%
就業支援制度の充実	97	16%
合理的な配慮のある職場、活動の場確保	61	10%
手当・年金などの経済的援助充実	260	44%
医療費の負担軽減	171	29%
公共施設利用環境の充実	68	12%
情報提供体制の充実	5	1%
スポーツ、文化活動等援助	18	3%

有効回答数	425	72%
欠損値	164	28%
合計	589	100%

誤答

択一形式の 30 問のうち、15 問で 1%程度の複数回答があった。問 25（一人で外出できるか）のみ 2%の複数回答があった。

	対象者		非対象者		
	条件	数	数	誤答数	誤答率
問 9-1	問 8-1 で 1-4	426	163	13	8%
問 9-2	問 8-2 で 1-4	391	198	32	16%
問 18	問 17 で「仕事をしたい」と回答	185	404	1	0%
問 21	問 20 で「運動している」と回答	252	337	2	1%
問 22	問 20 で「運動している」と回答	252	337	2	1%
問 34	問 33 で差別された経験が「ある」と回答	205	384	1	0%
問 35	身体手帳所持者	423	166	0	0%
問 36	身体手帳所持者	423	166	0	0%
問 37	身体手帳所持者	423	166	0	0%
問 38	療育手帳所持者	92	497	0	0%
問 39	精神手帳所持者	85	504	0	0%
問 40	精神手帳所持者	85	504	0	0%
問 43	問 42 で「利用している」と回答	102	487	0	0%
問 46	問 45 で「利用している」と回答	126	463	0	0%
問 47	問 2 で 18 歳以上	545	44	0	0%
問 48	問 2 で 18 歳以上	545	44	0	0%
問 49	問 2 で 18 歳未満	23	566	0	0%

2) 障害種別回答率

		全体	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	不明
身体	発送数	867	191	108	180	218	80	66	21	3
	回収数	423	127	54	69	77	25	23		48
	回収率	49%	66%	50%	38%	35%	31%	35%	-	
視覚	発送数	58	9	26	3	5	10	5	0	
	回収数	28	5	8	2	6	4	3		
	回収率	48%	56%	31%	67%	120%	40%	60%		
聴覚	発送数	58	1	13	8	11	0	25	0	
	回収数	24	0	5	2	4	0	13	0	
	回収率	41%	0%	38%	25%	36%	-	52%	-	
音声・言語	発送数	16	0	0	10	6	0	0	0	
	回収数	9			5	4				
	回収率	56%			50%	67%				
上肢	発送数	173	6	39	42	30	24	11	21	
	回収数	74	11	25	13	15	4	3	3	
	回収率	43%	183%	64%	31%	50%	17%	27%	-	
下肢	発送数	254	1	8	65	119	36	25	0	
	回収数	155	7	24	46	46	19	11	2	
	回収率	61%	700%	300%	71%	39%	53%	44%	-	
体幹	発送数	54	10	15	19	0	10	0		
	回収数	28	9	6	9		4			
	回収率	52%	90%	40%	47%		40%			
心臓	発送数	148	115	0	14	19	0	0		
	回収数	82	64		11	7				
	回収率	55%	56%		79%	37%				
その他	発送数	96	49	0	19	28	0	0	0	
	回収数	61	30	0	12	19	0	0	0	
	回収率	64%	61%		63%	68%				
			A1	A2	B1	B2				不明
療育	発送	154	36		58	60				
	回収	92	21	8	19	32				12
	回収率	60%	58%		33%	53%				
			1級	2級	3級					不明
精神	発送	200	81	106	13					
	回収	85	41	35	4					5
	回収率	43%	51%	33%	31%					

D. 考察

1) 全設問の有効回答率・誤答の有無

有効回答率が対象者の80%未満であった設問を下記に挙げる。

- ・ 問20で「運動やスポーツをしている」と回答した252人に問21・問22で場所と頻度を聞いたところ2割以上が無回答であった。その9割以上が問20で「散歩」と回答していたことから「運動やスポーツをしている方にお聞きします」という設問に対し、「散歩」は「運動やスポーツ」に該当しないと判断したことが推察される。

- ・ 問26（一人で外出が難しい場合の外出方法）では41%が無回答であった。その8割は問25（一人で外出できるか）で「どこにでも一人で外出できる」と回答した人であったことから、問26の前に対象を明確に記載する必要がある。
- ・ 問27（移送サービス利用の希望）では、34%が無回答であった。「利用を希望していない」という選択肢を設けたが、後ろの方にあるため、希望しない場合、選択肢をすべて読まずに次に進む可能性が考えられる。
- ・ 問28（外出時に困ること）では、34%が無回答であった。その8割は、問27で「移送サービス利用を希望していない」あるいは無回答の人であった。
- ・ 問35（身体）・問38（療育）・問39（精神）ではじめて障害として認定された年齢を聞いたところ、身体23%、療育25%、精神22%が無回答であった。発行年月日から年齢を算出する手間がかかる分、回答率が下がった可能性がある。
- ・ 問41（障害支援区分認定）では、49%が無回答であった。また問42（障害者・児福祉サービスの利用有無）では、39%が無回答であった。いずれも「受けていない」「利用していない」という選択肢を設けたが、該当しない場合、選択肢をすべて読まずに次に進む可能性が考えられる。
- ・ 問44（要介護認定）では、29%が無回答であった。また問45（介護保険サービスの利用有無）でも、29%が無回答であった。「申請していない」「利用していない」という選択肢を設けたが、該当しない場合、選択肢をすべて読まずに次に進む可能性が考えられる。
- ・ 問47（平均的な月収と内訳）では、69%が無回答であった。
- ・ 問48・問49で本人および家族の課税状況等を聞いたところ、2~3割程度が無回答であった。

- ・ 問 51 (現在、特に必要と感じている支援) は、選択肢にしたところ 72%が回答した。(詳細は別途、分担報告書に記載した。)

誤答

- ・ 択一形式の 30 問のうち、15 問で 1%程度の複数回答があった。問 25 (一人で外出できるか) のみ 2%の複数回答があった。「慣れた場所には一人で行けるが、それ以外の場所は支援が必要」と「体調が悪い場合は支援が必要」は背反でないため、選択肢を変えるか、複数選択形式が適切と考える。
- ・ 問 8 で「不安や落ち込みがある」と答えた人に、問 9 でその程度を聞いているが、問 8 で「全くない」あるいは無回答だった人の約 1 割が問 9 で程度を回答していた。

2) 障害種別回答率

障害種別では、内部障害と知的障害(療育手帳所持者)で回答率が高く、聴覚障害・上肢の障害、精神障害で低かった。療育手帳所持者では、身体障害や精神障害に比べて、親や家族など本人以外が記入している割合が高く、それが回答率に影響

していることが示唆された。

上肢の障害および下肢の障害については、回答数が発送数を上回っていた。台帳に登録されている等級と本人が所持している手帳に記載されている等級が部分的に一致せず、原因としては再認定・再交付等の際に情報が更新されていないことが考えられる。

E. 結論

厚生労働省が次期に行う全国在宅障害児・者等実態調査に向けて、プレ調査を試行し、調査方法、調査票の設計、項目設定等について課題を明らかにした。有効回答率が相対的に低い設問や誤答の多い設問については表現や選択肢の改善案を示した。一方で、現在利用しているサービス種類や収入・税の状況等は現行の方法では全体の捕捉が困難であることが示唆された。

F. 健康危険情報 なし

G. 研究発表 なし

H. 知的財産権の出願・取得状況 なし